

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	井ノ上 了吏
主な担当科目	キャリアデザイン, 歌曲特別演習①
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	声楽作品、オペラ作品の歌唱におけるテキストとスコアの関係性を把握し、作品への理解と解釈を深め、音楽を構築できる事を目標として、レッスン、授業を充実させるべく臨む。また、キャリア委員長としてキャリアデザインの授業を受け持つ上で、コースを超えて、すべての本学で学ぶ学生の将来の参考となる授業を進められる授業作りを臨む。さらに、2024年度からの新コースの準備を整える。
2023年の教育に関する自己評価	2023年度は全世界手にコロナ感染予防も緩和され、すべてが対面の授業に戻され、通常歌唱となり、その中で本質的な発声のモード、また表現について指導ができたと考える。またキャリアデザインの授業においては、多くのコースの専任・非常勤の先生方、本学卒業生に登壇していただき、学生たちの将来のキャリアを文字通りデザインしていただけたと考える。また、新コース「声とことばの創造コース」立ち上げ、授業の組み立て、講師の人選にあたり全力で準備が進められた。
2023年のFD活動に関する自己評価	FD活動、とくに留学生の問題について活動、また多様な学生の対処について活動した。
授業改善のために取り入れた研修内容	個人レッスンでは一人一人と対話を怠らず悩みなどの相談を受け改善学習成果の向上を目指した。またキャリアデザインでは本学の先生方に登壇していただき音楽家の道を説いていただき昨年よりテーマを決め生徒の理解を深めた。また卒業生にも登壇していただき、身近な悩みの解決を図った。オペラ特別演習①②においては今年度の学生は外部・留学生が多いため、できるだけ丁寧な指導を志した。声楽研究においても個人のレベルアップ、またこちらも新入生の半数が留学生のため丁寧にわかりやす授業を務めた。

2023 年度(前期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:747 教員名:松島 秀幸
教員コード:2623 教員名:井ノ上 了吏

1)アンケート結果に対する所見

- ・母数が少ない点はあるが、概ね期待する評価であったと思われる。

2)要望への対応・改善方策

- ・特になし

3)今後の課題

- ・授業回数を現9回から15回へ
 - ・キャリア支援講座で開催している内容を授業に組み入れ現行に加えキャリア・デザインⅡの開講
 - ・セメスターに合わせ後期にも前期同内容の開講
- ※上記3点を踏まえたリフレクション科目検討で案を出している

以 上